



# 福田氏3選



当選後の初登庁で、役場玄関で花束を受ける福田町長

四月二十六日に行われた町長、町議会議員選挙で福田直吉氏（川永田）が三選を果たし、町議会議員も新人四人が初当選しました。

## さつそく初登庁

### 職員前に抱負と決意を

町長・町議会議員選挙が四月二十六日に行われ、新しい顔ぶれが決まりました。今回の選挙の総投票者数は六千二百七十一人、棄権者が百十三人で投票率は九八・二割になりました。この投票率は

前回より一・八割も上回り本町の選挙としては最高を記録。今回の統一地方選挙でも県下一高い投票率となりました。

町内十三の投票区別に見ても、第十投票区（二見）、第十二投票区（大成）は男女とも投票率が百割でした。また第二投票区（仁田之浜）、第四投票区（河内）は女性が百割でした。

投票日当日の午後八時から投票が行われ、町長選挙は二百四十五票差（前回二百七十八票差）で福田直吉氏が三度目の当選を果たしました。

町議会議員選挙も定員より一人多い十九人で争われ、最高得票数四百一十二票、最低が二百五十八票、わずかに二票差で当落が決まりました。

三選を果たした福田町長は四月三十日に初登庁。役場玄関で職員の前で挨拶を受けられ、女子職員から花束の贈

呈を受けました。このあと、町民会館二階視聴覚室で職員を前にあいさつを行い、「二分されたし、こころを一日も早く取り除き、二十一世紀に対応できる町づくりに努めたい」と、町づくりへの抱負と決意を述べました。

ふくだ なおよし 略歴  
▽宮崎農林専門学校卒  
▽町教育委員、助役などを歴任。昭和五十四年から町長に就任。現在三期目。  
▽大正十五年六月十日生まれ  
▽住所 川永田

### 就任あいさつ

町長 福田直吉

このたび町民の皆様のご信任を得て、三期目の町政を担当させていただきます。ことに心から感謝申し上げます。

八年前に初めて町政を担当して以来今日まで、

町民の皆様がたの温かいご支援とご協力をいただき、豊かで住みよい町づくりにまい進して参りました。

こうした諸事業を推進するため、引き続き「活力・定住・希望」の三つの柱をかかげ、二十一世紀に対応できる豊かで住みよい町づくりに努めます。

## 21世紀に向かう町づくり

しかしながら、二期八年前で達成できなかった諸問題もたくさんあります。まず、これらの解決に努めたいと決意

を新たにしています。さらに、取り組んで参りました水資源対策や漁港・港湾整備に加え、念願でありまし

た町民グラウンドの早期着工、有線テレビの導入、ソフトソーイング計画の促進も目指したいと思っています。

## 助役、収入役再任

### 山口氏(須賀)と西田氏(湊)に

こんどの議会で任期満了に伴う助役、収入役、監査委員の選任があり、助役に山口和哉氏（須賀）、収入役に西田恵明氏（湊）、監査委員に宮崎惣市氏（大浜）が、いずれも再任されました。また、議会議長の監査委員には竹場淳氏（田之浦）が選ばれました。

歴史。五十八年五月から助役に就任。二期目。  
▽昭和七年九月十五日生まれ  
▽住所 須賀  
にしだ しげあき 略歴



やまぐち かずや 略歴



にしだ しげあき 略歴

▽県立果樹試験場卒  
▽昭和二十九年六月町見村役場に勤務。勸業衛生係、産業建設課振興係長、産業課長、建設課長、総務課長を

▽伊方農学校卒  
▽昭和二十七年一月伊方村役場に勤務。戸籍係、産業建設係長、農業委員会事務局長、国土調査課長、産業課長、建設課長を歴任。五十八年五月から収入役に就任。二期目。  
▽昭和八年一月一日生まれ  
▽住所 湊

## 母の日似顔絵

今年は5月10日が母の日でした  
恒例の似顔絵16点を紹介します



田中 みさちゃん (仁田之浜=6歳)

藤堂 恵ちゃん (河内=6歳)

矢野 公大くん (中浦=6歳)

門田 宗範くん (中之浜=6歳)

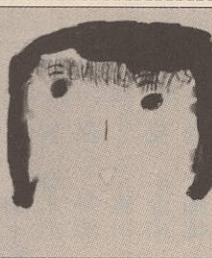
浜中 智ちゃん (中之浜=6歳)



二宮 克之くん (豊之浦=6歳)



西森 大樹くん (豊之浦=6歳)



菊池 理恵ちゃん (川永田=6歳)



中川 勝巳くん (川永田=6歳)



門田 俊宏くん (伊方越=6歳)



西原 秀治くん (湊浦=6歳)



糸瀬 由佳里ちゃん (湊浦=6歳)

# 民話と伝説

取材先／河内 補作／岡村 豊  
挿絵／山本一路(湊浦)

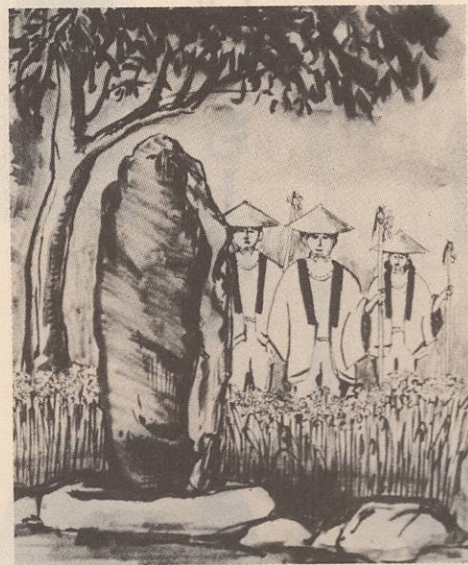
44

## 念願かない巡礼碑

河内

たいものよのう。こないだ、法通寺の檀家の人もバス三台で行きはなしたと。河内の人も大勢行きなはったいわい。わたし方の家の裏山にはな、札所巡りに何遍もいきなはってな、満願かのうて立てたという碑があります。その人はな、たいへんな信心家じやったそうすらい。もともと、

ぶたもあるはずじやが。あつたかな、その碑に何んと刻んであります。読むめすかな。読んで聞かしてやんなはらんか。「安政六(一八五九)年四月吉日、秩父坂東、奉納大乗典為諸山拜禮供養也、四国、西国、当浦施主、仁三郎立之」と刻んであります。



四国路に春の訪れを告げる鈴の音が流れ、白装束のお遍路さんらに乗せたバスやタクシーが行き交うようになりま

体が弱かったそうすらい。でもな、何遍もいくうちに親切にしてくれる人に出会い仲よしになったそうすらい。ほら、この崖の上に青石の大けな平石があるろがはい。昔はな、榎の太木があつてな屋根の上に被せかけてくるほど大きな木じやったのじやが切りましたけに。蘇鉄の大か

そうかな、やっぱりな。これは、お墓じやないのぜ。仁三郎さんという人はな、信心な人じやったそうすらい。四国八十八ヶ所巡礼し

霊場巡りが終わりの年に、親切にしてもらった人が亡くなったことを風のたよりに聞きなはって、満願かのうたことも合わせて、この供養碑を立てなはったそうすらい。わたしらがそがいに聞いたらや

抱いて駆けこんでくる人、仏前に響けがつつてあるろがはい。綱を振って打ち鳴らすのが、お宮の神前で鈴をガラガラ鳴らす姿に似ているもんで思わずかしわ手を打つ若者も

人間だれしも、自分や身内の幸せを願わないものはない。バスでもええ、自家用車(マイカー)でもええじやないかはい。巡礼できるときは行つときはなはいよ。休日を利用しては同行二人、いや、お大師さまも一緒にいて来なはるので、同行三人ですらい。ご利益はあります。

幼児は自分で十分に磨ききれませんで、お母さんに仕上げ磨きをしてもら

豊之浦保育所長 渡辺 紀代

五月十四日から十八日までの日程で、改選後の臨時町議会が開かれました。こんどの議会で、新しい議長に梶田忠義氏(湊浦)、副議長には小泉久氏(川永田)が選出されました。



梶田 忠義氏 (かじた ただよし) 副議長、総務・文教厚生委員長など歴任。当選4回。



小泉 久氏 (こいずみ ひさし) 原電対策特別委員長、議会運営委員長など歴任。当選3回。

委員長 高月 初彦  
副委員長 佐竹 英信  
委員 高野 遠  
梶田 忠義  
竹内 藤雄

委員 田中 康司  
○文教厚生委員会  
委員長 丸山 栄一  
副委員長 上野 守  
委員 福田 弘

○議会運営委員会  
委員長 吉川 治吉  
副委員長 高月 初彦  
委員 丸山 栄一  
濱本 浩

## 副議長には小泉氏就任

## 梶田氏が議長に

委員 菊池 伝治  
竹場 淳  
渡辺 信昭  
〇産業建設委員会  
委員長 浜本 浩  
副委員長 宇都宮 永  
委員 辻 忠義  
重岡 雅樹  
小泉 久  
吉川 治吉

## 52人に委嘱 保健推進員さん

- 健康づくりのお手伝いをしていた保健推進員さん五十二人が決まりました。任期は二年間です。よろしくお願ひ致します。敬称略
- ▽大浜 河野文枝、谷藤辰美、木戸玲子、吉平トキコ
- ▽中之浜 木下良子、山口英子
- ▽仁田之浜 渡辺節子、徳江 菊美、田中サヨ子
- ▽河内 上田美穂恵、渡辺タエ子、松下多亀子
- ▽湊浦 明神良江、三好トミエ、山下恵子、山下福見、佐竹久美子、川道京子、横田三栄
- ▽湊浦二 守田幸子
- ▽小中浦 吉本紀代子
- ▽伊方越 神野房子
- ▽亀浦 宮本政子
- ▽中浦 竹内幸子、西野ミサコ
- ▽川永田 梶谷巨子、畑中律子、菊池智恵美、篠沢操
- ▽川永田二 山本芳枝
- ▽豊之浦 高石サエ子、渡辺ミタエ、谷口春恵、渡辺千恵、河野チヨル
- ▽奥 城岡文香、三根生千恵
- ▽向 堀内栄子、堀内美保子
- ▽畑 田淵民江、得能悦子
- ▽須賀 亀田久子、須賀中アキ子
- ▽久保 高内若江
- ▽西 武内ミチ子
- ▽二見 成本喜代恵
- ▽加周 平家一子
- ▽田之浦 山下マサコ、古田 仲美
- ▽古屋敷 古田ヤスミ
- ▽鳥津 鳥津ツルミ
- ▽大成 古田三代

「見て、先生、銀の歯が入ったよ」「わたしも見て、入るとるよ」と、子供たちは小さい口を精いっぱい開けて見せてくれます。今、園では虫歯治療中の子供が四人ほどいます。これも昨年に引き続きの育児教室(保健センター指導)を通して乳幼児期の虫歯予防の大切さを、お母さんがよく理解されてきたからだと思

「健康は毎日の生活の中から生まれる。その中でも給食は子供たちの体づくりや健康づくりの源である」と考え、保育を進めています。ところが、偏食が多い、固い物がかめない、体力不足がすぐ疲れるなど、気になることが多くあり、虫歯の多い子にそれが目立ちました。そこで、「虫歯のない丈夫な子供を育てる」ことを目標に、お母さんがたと共に虫歯予防に取り組んできました。



堀内 博美ちゃん (向=6歳) 西内 望ちゃん (西=6歳) 井上 雅之くん (田之浦=6歳) 山本 真貴ちゃん (二見=6歳)

「健康の窓」



町民会館4階大ホールで行われた開票風景

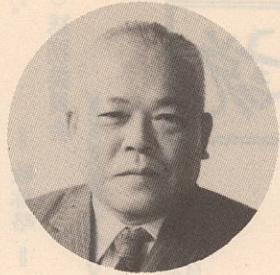
# 県下一の投票率

## 前回より1.8ポイントも上回る

町議会議員選挙は前回同様、定員十八人に対し十九人が立候補し、激しい選挙戦が繰り広げられました。最も身近な選挙で激戦を裏付けるかのように、当日の投票率は九八・二〇％。前回(五十八年)にくらべ約一・八ポイント上回り、今回の統一地方選挙

でも県下一の高投票率となりました。当選された議員さんの内訳は現職が十四人、新人が四人でした。今回の選挙で当選された議員さんそれぞれに町づくりに対する抱負や心がまえなどを同一項目でお伺いしました。

○氏名(年齢)  
○職業・現住所・数字は  
○当選回数  
— 敬称略 —



高野 遠(六十四歳)

◇町づくりの基本姿勢 地方自治の本旨に基づいて、広く町民の意見を聞き、真の代弁者として清潔な町政を推進したい。  
特に将来を展望した産業基盤の確立と住民福祉の向上に全力を傾注したい。

◇今、町に一番必要なもの(二)は  
生活環境の整備  
◇好きな言葉 初心忘るべからず  
◇尊敬する人物 特になし



辻 忠義(六十一歳)

◇町づくりの基本姿勢 基幹産業である農業・漁業の振興を図り、経営基盤の確立に努め、同時に福祉・文化・教育の振興を平行させねばならない。そしてまた、町の理事者及び議会は、常に町民とのコミュニケーションを図り、

町民の声を政策に反映させねばならない。基本とは町民のための町民の政治である。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
施設や政策でなく、選挙で二分された町民感情を早くほぐすこと。  
◇好きな言葉 特になし  
◇尊敬する人物 特になし



梶田 忠義(五十七歳)

◇町づくりの基本姿勢 町民本位の行政を推進し、均衡のとれた町の発展を期したい。それには、社会・経済情勢の変化に即応できる健全な行政運営、並びに長期的展望にたった「町づくり」が必要であり、活力のある伊方町を目

標に、産業振興、環境整備、教育の充実を図りたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
町民運動公園の整備  
畑地かんがい事業の早期推進  
◇好きな言葉 何よりも健康は第一の宝である。  
◇尊敬する人物 豊臣秀吉

## 町議会議員さん

## 18人に聞きました



福田 弘(五十六歳)

◇町づくりの基本姿勢 議会も行政も、このころの通う信頼関係の確立があつて、はじめて有機的に機能し連動するのである。まず和の精神に徹して事にあたると。電源立地町という特殊性が、活力ある町に結びつくよう安定的発展のため、

基幹産業、地場産業の振興に努める。立派な若者が育つ教育環境づくりをする。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
産業おこし運動の展開  
◇好きな言葉 やってみせ、言ってみせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ  
◇尊敬する人物 土光敏夫



重岡 雅樹(五十一歳)

◇町づくりの基本姿勢 まず、伊方町の発展に尽くしたい。そのために、町民の声を議会に反映させるよう努力する。  
また、本町がかかえる原子力発電所、人口の減少と高齢化現象、農漁業など

の伸び悩む基幹産業の解決に微力を注ぎたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
町民総合グラウンドと避難港の整備  
◇好きな言葉 少年よ大志をいだけ  
◇尊敬する人物 クラーク博士



竹内 藤雄(六十三歳)

◇町づくりの基本姿勢 町民の住みよい町にしたい。住みよい町とは町内に町民の望む職場があり、収入が安定し、しかも人情味豊かで文化と自然の環境にも恵まれた町。私はこの様な町だと思つて、それでは何から着手すればよ

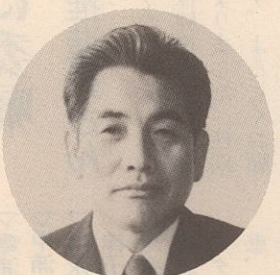
いか、浅学非才の私には良い思案はありません。ただ、少しでも多く町民の皆さんのご意見を聞き、それを町行政に活かす努力をしたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
地場産業基盤の整備充実  
◇好きな言葉 子孫のために美田を買わず  
◇尊敬する人物 西郷隆盛



小泉 久(五十三歳)

◇町づくりの基本姿勢 町民の真の声を町政に反映させ、町民主体の町づくりに努めたい。そのためには一人でも多くの町民とひざを交えて将来の町づくりについて話し合い、実現させたい。また、主権在民の憲法の本旨に基づ

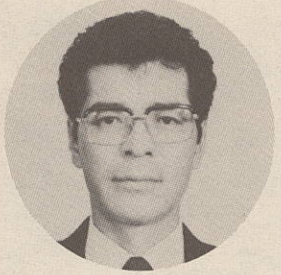
き、議会においては是非々々を筋を通し、課せられた任務の遂行に努めたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
生活環境の整備、町民が希望する運動公園の設立  
◇好きな言葉 決断と実行  
◇尊敬する人物 母



菊池 伝治(五十三歳)

◇町づくりの基本姿勢 「伊方町とはどんな町」の問いに、町民の皆さんが、みかんと漁業の町(農林水産業の振興)、原子力の町(安全性と商工業の発展)、教育の町(社会教育の充実)等を取り上げ「いい町だよ」と、自慢して答え

られるような町づくりに努めたい。だけれども、一度は住みたくなるような、住んでいてよかつたと思うような町にしたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は  
教育施設の充実  
◇好きな言葉 努力・忍耐  
◇尊敬する人物 吉田 茂



高月初彦(四十歳)

農 業・川永田・②

◇町づくりの基本姿勢 (一) 基幹産業である農漁業の発展・振興に努力したい。特に国際化の荒波が押し寄せてきている農業は、農地(荒廃園・遊休園)の流動化促進等、思いきった生産基盤整備(構造政策)を進め、生産性の高い

農業、足腰の強い中核農家の育成に努めたい。  
◇教育・文化の高揚を図り、明るくて、心豊かな町づくりに寄与したい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は公平と調和、そして人づくり(教育)  
◇好きな言葉 一人の百歩より百人の一步  
◇尊敬する人物 特になし



丸山栄一(四十五歳)

商 業・湊 浦・②

◇町づくりの基本姿勢 過去四年間をふり返り、議会とは議員とは何をなすべきかをよくふまえ、「活気とぬくもりある町づくり」を目指し、(一)幼児教育の重視(二)明るい長寿社会づくり(三)豊かな農家経営などを旨とし、それぞれの関係者の

ご意見を十分に聞き、それらの関係者の要求を基本とした清潔な行政を推進する。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は伊方町民である誇り、物や金でなく「心」を取り戻す指導者の養成。  
◇好きな言葉 聞くは一時のはじ聞かざるは一生のはじ  
◇尊敬する人物 私を取り巻くすべて  
の友人



吉川治吉(五十六歳)

農 業・川永田・②

◇町づくりの基本姿勢 心のふれあう豊かな町づくりを目標にして、地場産業の育成と町民の生活福祉の向上に努めたい。  
特に町民の高齢化に伴い、今後の老人対策を図る。

◇今、町に一番必要なもの(二)は地域産業起こしの推進に努め、町内の経済活性化を図りたい。  
◇好きな言葉 信義  
◇尊敬する人物 西郷隆盛



浜本浩(五十八歳)

農 業・大 浜・②

◇町づくりの基本姿勢 一期四年間の経験を生かし町民の声を議会に反映させるよう努力したい。また、足腰の強い農業の育成と若者が定住できる活力ある家庭づくり、故郷づくりに取り組みたい。また、教育の振興とたくまし

い青少年の育成、福祉対策に取り組むたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は町民会館付近に駐車場を早く実現したい。  
◇好きな言葉 初心忘るべからず  
◇尊敬する人物 特になし



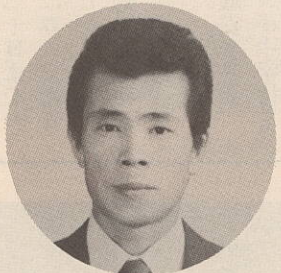
竹場 淳(三十九歳)

会社役員・田之浦・③

◇町づくりの基本姿勢 定住できる豊かな伊方町にするためには(一)まだ不足している住宅問題(二)原発立地町としての伊方町ではなく、ふる里伊方町としてアピールできるものを町民の皆様と考えて行きたい。

(三)社会化している青少年の非行、高齢化に伴う老人福祉問題  
以上の様なことを行政の立場で考えて行きたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は町見における学校施設の充実及び町民グラウンド  
◇好きな言葉 初心  
◇尊敬する人物 特になし

がんばります この気持ちで



渡辺信昭(四十二歳)

鉄工業・仁田之浜・①

◇町づくりの基本姿勢 本町の基幹産業である農漁業、商工業の振興を図り、定住できる町づくりのために何をすべきか、また、教育・文化・福祉の調和のとれた物心豊かな町づくりについて、対話と協調を基本に一つ一つ出来得る

ことから努力して行きたい。  
また、農道整備の問題、生活圏道路の問題なども長期的視野にたって考えてみたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は生活下排水の早期整備  
多目的広場  
◇好きな言葉 誠  
◇尊敬する人物 特になし



佐竹英信(四十四歳)

会社員・湊 浦・①

◇町づくりの基本姿勢 伊方町の発展と、豊かで住みよい町づくりのために皆さんとのパイプ役となり議会に反映させ、電源立地町として豊かな財源を有効に活かし、心豊かな人づくり、福祉の向上、環境整備に努めたい。また、

これからは特に働ける場所づくり等、他町にはみられない、電源立地町としての町づくりの為に努力をいたしたい。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は地場産業の育成(工場の誘致も含む)、町民総合グラウンド  
◇好きな言葉 和  
◇尊敬する人物 徳川家康



上野 守(四十七歳)

農 業・河 内・①

◇町づくりの基本姿勢 若者の定住できる町づくりに努力をしたい。  
特に寝たきり老人、独居老人のかたなど、一人でも多くの町民の皆さんと話し合い、伊方町発展のため町民の手足となって働きたい。

◇今、町に一番必要なもの(二)は労働者の皆さんの職場の確保  
独居老人へ週一・二回給食の支給  
◇好きな言葉 人情  
◇尊敬する人物 特になし

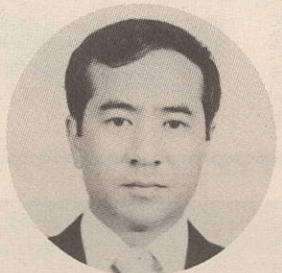


宇都宮 永(五十三歳)

会社員・中 浦・①

◇町づくりの基本姿勢 伊方町の発展に尽くしたい。そのために町民主体の行政推進に取り組み、町民の声を議会に反映させ、豊かで住みよい町づくりに努力したい。  
心豊かな人間性を育成する教育文化

の振興と町民生活の安定施策の向上に努める。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は生活環境の整備  
社会教育の充実  
◇好きな言葉 誠実・信頼  
◇尊敬する人物 父



田中康司(三十九歳)

会社役員・仁田之浜・②

◇町づくりの基本姿勢 (一)清潔で夢と希望のある住みやすい町づくり(二)積極的で温かみのある福祉行政の推進(三)心豊かな人間性を育成する為の教育と文化の振興

などを基本理念のもとに、活力ある郷土を築くため、皆様の手足となって、明るい町づくりに力一杯頑張ります。  
◇今、町に一番必要なもの(二)は町民の英知を結集して伊方町百年の大計を建てること。  
◇好きな言葉 誠実・初心忘るべからず  
◇尊敬する人物 特になし

# Young Lobby

## ホップ・ステップ・青春

⑤

川上 真一さん  
(河内=28歳)



### 青年相撲で活躍

川上さんは町青年団協議会  
長をはじめ、県連及び郡連の  
リーダーとして活動してきた。  
その間、各地へ足を運び、他  
の町の実態を自分の目で見て

どんな外に出て視野を広げるこ  
とも、自分の町を見直すこと  
につながるのでは……と。  
最近では町の公共施設もか  
なり充実してきたが、それに  
見合う人材はまだまだ足りない



全国大会出場記念(後列左)

### 歳時記

鯉のぼりが雄々と泳いでい  
たかと思つと、もう、うつつと  
しい梅雨のシーズン  
ズンズンと進んでい  
ても、細長い日本  
列島のことですか  
ら、梅雨の時期も  
所によって違いま  
す。

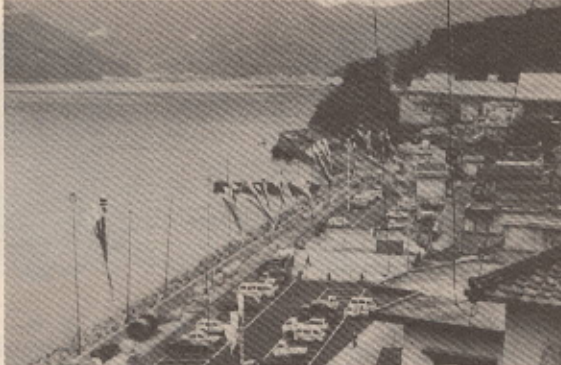
### 梅雨前線

沖繩の平均梅雨入りは五月  
十一日ごろ、東北地方の北部  
は六月十五日ごろです。わた  
ら梅雨の時期も  
所によって違いま  
す。



梅雨の時期には  
日本付近に東西に  
延びる前線が停滞しているの  
が特徴で、この停滞前線を梅  
雨前線と呼びます。前線の北  
青年団OBの中には現役を  
退いた後も地域の中堅として  
幅広く活動している人が大勢  
いる。川上真一さん(二十八  
歳)もその一人。

子供がすこやかに生まれ育つ  
ていくことは、親としてだれ  
もが願っていることです。  
しかし、いろいろな原因で  
障害をもった子供が生まれた  
り、健康に生まれた子供が成  
長の途中で障害をもつよう  
になったりすることがあります。  
このような両親は、いろい  
ろと悩みを持たれていること  
と思います。



### ぶらり散歩道

#### 鯉のぼり

5月5日の端午の節句につきもの  
の鯉のぼり。この日ははさんで、町内  
のあちこちで鯉のぼりが勢よく泳いでいま  
した。今年数えてみたら合計16本。4月15  
日から約1ヵ月間、色とりどりの鯉や真鯉が見  
られました。

側はオホーツク海高気圧からの  
冷たい北寄りの風が、南側は太  
平洋高気圧からの暖かい湿つ  
た南寄りの風が吹いています。  
梅雨前線は南から北上しま  
すが、秋の秋雨前線は反対に  
北から南下します。  
これらの「前線」は気象用  
語ですが、このほかに、季節  
を表す、何々前線というの  
いろいろあります。  
もともと有名なのが桜前線  
ですが、これを追って、やま  
つつじ前線、藤前線、あじさ  
い前線などが北上します。秋  
には、すすき、かえでの紅葉  
などの前線が南下します。  
日本は自然の移り変わりの  
はつきりした楽しい国ですね。  
とはいっても、梅雨期は  
恐ろしい災害の季節でもあり  
ます。あなたの身の回りを点  
検すると同時に、万一のとき  
の対策も考えておきましょう。

### 心身障害児の巡回相談

#### 町内の交通事故

5月1日現在  
発生件数.....17件  
(4月.....2件)  
負傷者数.....4人  
(4月.....0人)

五月十一日から二十日までの  
十日間、全国一斉に春の交通安  
全運動が行われました。町内で  
も、街頭指導、交通安全屋、交通  
教室などを実施して事故防止を  
呼びかけました。  
期間中、町や交通安全協会、  
ライオンズクラブ、小中学校な  
ど幅広い協力をお願いいただきま  
した。みんなの力で事故防止を！  
伊方・町見駐在所

### 人の動き

8,704人 {男4,250人(-57人)}  
{女4,454人(-48人)}

昭和62年4月1日現在  
世帯数2,728戸(-25戸)

#### お誕生おめでとう

よい子に育ってください

昭和62年3月1日  
3月31日

#### えんむすび

昭和62年3月1日  
3月31日  
氏名 本籍地

#### こちら編集室

▽先月から「ぶらり散  
歩道」と題して、四季  
おりおりの話題を紹介  
しています。第一回は  
春祭りに行われた神楽、  
二回目の今日は鯉のぼ  
りを紹介しました。い  
ずれも写真は提供して  
いただいたものです。

#### 情報ボックス

##### 住宅金融公庫

住宅金融公庫では、  
個人住宅、建売住宅の  
六十二年度第一回及び  
住宅改良資金の申し込み  
受付を開始しました。  
希望のかたは「住宅  
金融公庫業務取扱店」  
と表示した金融機関で  
お尋ねください。

##### 年金住宅融資

愛媛県年金福祉協会  
では昭和六十二年第一  
回「年金住宅融資」  
の受付を行っています。  
厚生年金保険の加入  
者で、加入期間が三年  
以上あるかたは利用で  
きます。融資利率は年  
五割です。詳しくは社  
団法人愛媛県年金福祉  
協会(〇八九九一四一  
一七六七)までお尋  
ねください。

#### おくやみ

昭和62年3月1日

死亡者 年齢 住所  
3月31日